

みんなのでスポーツ

草津市の総合型地域スポーツクラブ「くさつ健・交クラブ」(草津市西矢倉)は、幅広い世代が楽しめるスポーツだけでなく、地域性を生かして地元の大学やアロススポーツチームと連携したイベントや教室を開催し、人気を呼んでいる。

くさつ健・交クラブ



ボランティアスタッフの皆さん

地域に密着 メニュー多彩



人気のサッカー教室

大学、プロと連携 会員300人

総合型地域スポーツクラブと「ダンスやミニバスケットボール、1995年から文部科学省が進めてきたスポーツ振興策で、個人を増やしており、ジュニアの会員のレベルや興味に合わせ、多彩な運動メニューが用意された地域密着型のクラブ。県内には2012年3月現在、46のクラブがあり、地域の要望に沿ったイベントやサークル、教室が開かれている。

「くさつ健・交クラブ」は08年4月に設立され、会員は現在300人余り。半数以上が小中学生で、平日は練習、週末は試合と忙しい。

小学1〜4年生の男子16人が参加するサッカースクールでは、地元プロサッカーチーム「MIOびわこ滋賀」の選手、鎗田志郎さん(26)(同市野路)がコーチを務める。平日は練習、週末は試合と忙しい。

唯一の休日である月曜に指導している。子どもたちの成長に毎回驚かされる。いい刺激をもらっています」と鎗田さんは笑顔で話す。

1年生の時から参加する黒川大翔君(8)(同市南山田町)は「コーチは優しく面白いです。ゴールが決まった瞬間などに褒めてくれると、やる気が出る」と話し「夢は日本代表。頑張って練習を続ける」。

65歳以上のシニア会員も多く、



健康バンド体験教室も行った(くさつ健・交クラブ提供)

大極拳やヨガ以外に地元の立命館大スポーツ健康科学部の学生らもサポーターする健康づくり教室などにも人気が集まっているという。

現在、16人のボランティアがイベントや教室の企画、運営、サークルの指導まで担当するが「設立当初は、ボランティアがたった3人だったんですよ」と中野さん。15年には会員400人を目指している。そのためにも協力してくれる人を求めている。「体を動かすことが好きなら、経験は問いません。草津市のスポーツ振興のために、ともに頑張りませんか」と中野さんらは呼びかけている。問い合わせは月・水・土曜日の午前中に同クラブ(077・5633・6565)へ。

ひとまず